

2015年3月2日

各位

みさき投資株式会社

三井住友信託銀行との戦略的業務・資本提携に関するお知らせ

～時代に求められるエンゲージメント活動に取り組む～

みさき投資株式会社（代表取締役社長：中神 康議、以下「みさき投資」）は、三井住友信託銀行株式会社（取締役社長：常陰 均、以下「三井住友信託銀行」）（五十音順、以下同様）と、本日、戦略的業務・資本提携を行いましたので、お知らせいたします。

記

1. 当リリースにあたっての前提認識

安倍政権では成長戦略の核心として「稼ぐ力を取り戻す」という目標を掲げ、金融庁による「日本版スチュワードシップ・コード」や「コーポレートガバナンス・コード原案」、経済産業省による「持続的成長への競争力とインセンティブ～企業と投資家の望ましい関係構築～（伊藤レポート）」を公表しています。また、会社法の改正や GPIF の運用改革、JPX400 指数の運用開始等、企業経営と株式投資のあり方の変容につながる各種施策が導入されています。この背景には、わが国経済の成熟化に伴い、株主を主体とする「エクイティ・ガバナンス」の重要性が従来以上に高まっており、企業と投資家の健全な対話が、企業の収益性を高め持続的な成長を促し、経済活性化のための重要な要素になるとの認識があるものと考えております。

こうした認識の下、2014年10月に、みさき投資は責任ある投資家として「エクイティ・ガバナンス」の一端を担うため、企業と投資家の対話（「エンゲージメント」）を戦略の根幹に据えた「みさきエンゲージメントファンド」の運用を開始するとともに、三井住友信託銀行と覚書を締結し、受託事業・ホールセール事業・証券代行業の広範囲に亘る協業について検討を進めて参りました。今回、以下の内容にかかわる戦略的業務・資本提携の締結に至りました。

2. 戦略的業務・資本提携内容

三井住友信託銀行は、「みさきエンゲージメントファンド」への投資、およびみさき投資への出資を行います。また、国内年金・海外投資家等に対して、みさき投資と共同して「みさきエンゲージメントファンド」についてのマーケティング活動を実施します。今後は、みさき投資への人材派遣も予定しております。

みさき投資は、三井住友信託銀行のホールセール事業や証券代行業業に対して、提案力強化に向けた提案活動支援や取引先ネットワークの紹介等幅広い事業分野において協業を実施してまいります。また、三井住友信託銀行の受託事業が実施するスチュワードシップ活動に対して、その強化に向けた支援を行います。

【三井住友信託銀行の概要】

名称：三井住友信託銀行株式会社
所在地：東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
代表者：取締役社長 常陰 均
資本金：3,240 億円
設立：大正 14 年 7 月 28 日
事業内容：信託業務、銀行業務

【みさき投資株式会社の概要】

みさき投資株式会社は、経営戦略コンサルティングおよび資産運用業界出身者を中核として設立された、エンゲージメント投資を専門とする資産運用会社です。

名称：みさき投資株式会社
所在地：東京都港区南青山五丁目 11 番 1 号
代表者：代表取締役社長 中神 康議
資本金：1 億 1000 万円（資本準備金含む）
設立：平成 25 年 10 月 1 日
事業内容：適格投資家向け投資運用業、投資助言業、みなし第二種金融商品取引業
役員構成：

代表取締役社長	中神 康議
取締役	鈴木 章司
社外取締役	藤岡 博憲（大阪府病院厚生年金基金 前常務理事）
社外取締役	安達 寛晃（九州電力企業年金 前年金運用担当部長）
社外取締役	山田 勝（株式会社 SHOEI 代表取締役会長）
社外監査役	佐藤 明夫（弁護士、元 JASDAQ コンプライアンス委員長）

経営諮問委員（50 音順）：

伊藤 邦雄	（一橋大学教授、東京証券取引所上場会社表彰選定委員会座長）
奥山 章雄	（公認会計士、元日本公認会計士協会会長、元中央青山監査法人理事長）
落合 誠一	（東京大学名誉教授、中央大学教授、西村高等法務研究所所長）
楠木 建	（一橋大学大学院国際企業戦略研究科教授）

小林 慶一郎 (慶應義塾大学経済学部教授、キャノングローバル戦略研究所研究主幹)
堀江 貞之 (野村総合研究所上席研究員)

以上